



# 部活動の地域移行 実証事業

令和6年度の実証事業まとめ

和気町

## 01

## 本年度の取組

	当初予定	成果
運営団体 指導者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合型地域スポーツ和気クラブ</li> <li>・ 和気町スポーツ少年団</li> <li>・ 指導者：地域住民、一部大学教員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同左</li> <li>・ トレーニング・クリニックでは、大学生による指導も実施</li> </ul>
活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校部活動の大部分の競技・種目を実施</li> <li>・ (左記に加えバレーボール、柔道)</li> <li>・ 町単独で人数を確保できない種目の広域連携を推進(野球、サッカー)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町内で活動している団体(バレーボール、柔道)と受け皿団体に向けた交渉を実施(本年度中の加入は見送り)</li> <li>・ 広域連携に向けた体制を構築(東備地域情報交換会)</li> <li>・ バスケットクラブへのレベルアップクラス設置に向けた体験会を予定</li> </ul>
活動場所 用具	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スポーツ：和気町体育館、小中学校体育施設</li> <li>・ 文化：旧和気小学校校舎、学び館「サエスタ」</li> <li>・ 吹奏楽クラブは学校の遊休楽器を使用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同左</li> </ul>
運営資金 参加費支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実証研究期間であるため70%以上が国委託費</li> <li>・ 受益者負担として参加者から1回当たり100～500円を徴収(町の補助金を増額してクラブに補助することで保護者の実質的な負担はゼロ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同左</li> <li>・ 今後、町商工会等に対して、地域スポーツ・文化環境の充実に向けた取組をPRし、支援を依頼(予定)</li> </ul>
参加対象 広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学生だけではなく、小学生から大人までを対象</li> <li>・ 町広報誌、チラシ等で周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同左</li> <li>・ 令和7年から、広報和気に地域スポーツ・文化団体の活動を連載するコーナーを設け、町民への啓発を充実させる予定</li> </ul>
生徒輸送	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原則、保護者送迎等の自力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保護者送迎等が原則だが、令和7年1月からの町営バスダイヤ改正により、活動場所への往路のみ自力通所が可能に。</li> </ul>

# 02 地域スポーツ・文化芸術環境の把握

## 学校部活動の現状

設置している学校部活動			
運動部		文化部	
和気中学校	佐伯中学校	和気中学校	佐伯中学校
ソフトテニス部	ソフトテニス部	吹奏楽部	吹奏楽同好会
陸上競技部	トレーニング同好会	創作部	
野球部 卓球部			
バレーボール部			
バスケットボール部			
武道（柔道）部			
武道（剣道）部			

【合同部活動の状況（令和6年12月現在）】

野球：和気中と磐梨中

サッカー：和気中と吉永中

出典：「部活動の地域移行に向けた保護者アンケート」（令和6年9月 町教委実施）

## 団体のリソース

競技・分野名	団体名	活動場所	活動頻度	活動時間	活動費（参加費）
ソフトテニス	和気クラブ	和気鶴飼谷温泉テニスコート	週2	2～3時間	500円
陸上競技	和気クラブ	佐伯中運動場他	週2	2時間	500円
バドミントン①	和気クラブ	和気町体育館	隔週	2時間	500円
バドミントン②	和気クラブ	和気町体育館	隔週	2時間	無料
バスケット	和気クラブ	和気町体育館	隔週	2時間	無料
吹奏楽（楽器体験会）	和気クラブ	旧和気小音楽室	月1	1時間	無料
吹奏楽（マスターズアカデミー）	和気クラブ	和気閑谷高校音楽室、学び館「サエスタ」	週1	1時間	500円
剣道	和気町スポーツ少年団	和気武道館	週2	2時間	無料
※柔道	和気武道館	和気武道館	週2	2時間	無料
※相撲	町相撲連盟	和気町相撲場	週2	2時間	無料
※バレーボール	ライジングサン	和気中体育館	週1	2時間	無料
※卓球	定国スター	サダクニ卓球場	不定期	不定期	不明

※印の競技・分野は、令和6年度実証事業の対象団体ではない。

# 03 利用可能な活動場所の把握と確保

## 利用可能施設一覧

### 学校施設

5小中学校体育館・運動場（4校の運動場にナイター設備あり）

### スポーツ施設

町体育館（バスケ2面、バレー3面、卓球10台以上）  
和気鵜飼谷温泉テニスコート（テニス●面）  
町武道館（剣道1面、柔道1面）  
ロマンツェ（サッカー1面、テニス6面）  
佐伯グラウンド（野球1面）  
和気鵜飼谷温泉温水プール（25M×6コース）  
WAKEドーム（全天候型多目的グラウンド）  
B&G佐伯海洋センター（カヌー10艇程度）  
和気スケートボードパーク（屋外）

### 文化芸術施設

学び館「サエスタ」（大ホール1他）  
町中央公民館（ホール1他）

### その他

旧和気小（音楽室） ※廃校活用

## 活動場所の確保

### 【現状】

- ・学校体育施設は、定期利用団体の受付窓口は社会教育課（町体育館）、都度利用団体の受付窓口は各校
- ・社会教育施設の受付窓口は社会教育課各所に分散（町体育館、学び館「サエスタ」、町中央公民館、和気鵜飼谷温泉）
- ・廃校となった施設の管理は町財政課（利用申請も同署）
- ・施設利用の際の鍵の管理は、定期利用団体に合鍵を貸与

### 【今後の見通し】

- ・受け皿団体が増加した際の学校体育施設、社会教育施設の割振り変更が必要（調整会議等）
- ・ICTを活用した社会教育施設予約受付のワンストップ化が必要
- ・学校体育施設、管理者不在施設の鍵の管理体制の見直し

# 04

# 協議会の設立・開催

令和4年9月

令和4年10月

令和4年12月

令和5年1月～

令和5年3月

令和6年12月

部活動の地域移行に向けた検討委員会設置

第2回検討委員会（受け皿団体や指導者の選定）

部課長会での説明  
部局横断的な取組

学校（該当部活動顧問）への説明及び懇談

町議会全員協議会での説明、広報誌による町民への周知

令和6年度部活動の地域移行に向けた検討委員会

●第1回検討委員会  
○参加者（委員）：  
・町スポーツ協会会長  
・町スポーツ少年団本部長  
・総合型地域スポーツ和気クラブ理事長、同理事  
・中学校長  
・教育長、学校教育課長、学校教育課長代理、社会教育課長代理ほか  
○協議題：  
（1）休日の部活動の地域移行に向けて解決すべき内容の論点整理  
（2）今後の方向性（ロードマップ）  
・近隣自治体との広域連携に向けた事務局レベルの意見交換の実施  
・児童生徒及びその保護者向けアンケート実施とニーズ把握  
・地域移行支援コーディネーターの活用

●第2回検討委員会  
○参加者（委員）：左記委員に加え、県教委が委嘱する地域移行支援コーディネーター  
○協議題：  
（1）第1回検討委員会で出た課題への具体的な対応について  
①指導者の確保  
②生徒の交通手段  
③地域住民への啓発  
④広域での連携  
（2）今後の方向性  
・町長部局の理解促進に向けた取組  
・令和5年度からのモデル種目の検討  
（学校部活動との調整、予算獲得に向けた環境整備…）

●部課長会  
○参加者：町長部局の各部課長、教育委員会事務局  
○説明内容：  
1 部活動の教育的位置づけ  
2 部活動改革の論点  
3 部活動はこう変わる  
4 これからの和気町の児童生徒のために考えるべきこと  
5 教育委員会からのメッセージ  
「部活動の地域移行は、和気町全体で子どものスポーツ・文化機会を確保するという「新たなスポーツ・文化環境の構築」であると捉え、各部署にご協力をお願いしたい。」

●学校への説明及び懇談会  
○参加者：中学校長、該当部活動顧問、総合型地域スポーツ和気クラブ理事長、各クラブ指導者、町教委学校教育課長、同課長代理、社会教育課担当者  
○説明内容：  
左記部課長会の内容の1～4及び総合型地域スポーツ和気クラブの該当クラブの状況  
○懇談内容：  
・学校とクラブの連携の形態や方法  
・生徒の該当スポーツへの取組状況

●町議会全員協議会での説明  
○参加者：和気町議会議員、町長、副町長他町執行部職員、教育長、教育次長、学校教育課長、同課長代理、社会教育課担当者  
○説明内容：  
左記部課長会の内容の1～4、令和5年度実践研究事業の概要、教育委員会からのメッセージ  
「部活動の地域移行は、和気町全体で子どものスポーツ・文化機会を確保するという「新たなスポーツ・文化環境の構築」であると捉え、町議会議員のみならず、町民さまのお力添えをお願いしたい。」

●令和6年度検討委員会  
○参加者（委員）：  
・町スポーツ協会会長  
・町スポーツ少年団本部長  
・総合型地域スポーツ和気クラブ理事長  
・各小学校区保護者代表  
・中学校長  
・教育長、教育次長、学校教育課長、社会教育課長、地域移行総括コーディネーター  
○協議テーマ「前半期の取組を踏まえた課題と今後の方向性」  
・全体の方向性について  
・各課題への対応  
（ア）生徒の移動手段（イ）活動参加費（経済的困窮世帯への支援含む。）（ウ）受け皿の充実（エ）児童生徒、保護者を含めた町民への広報（オ）指導者確保及び質の向上（カ）広域連携による受け皿整備

# 05

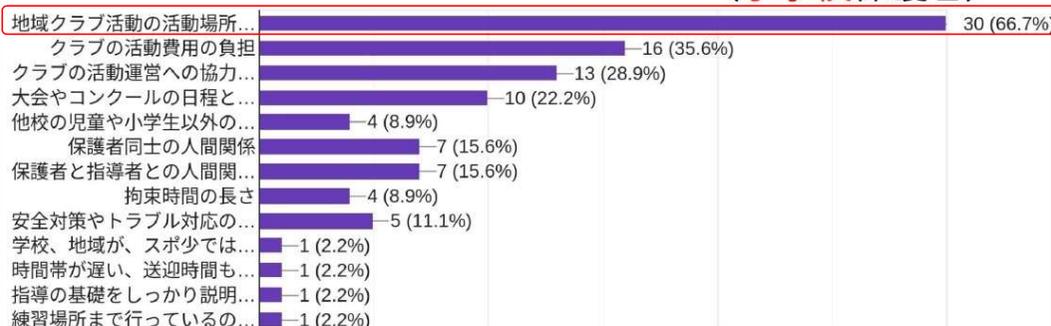
## 移動手段の検討と確保

### 自子が地域クラブ活動に所属して課題に感じていること

問6 お子さまが地域クラブ活動に所属して、課題...じていることを教えてください。【複数回答可】

45件の回答

(小学校保護者)

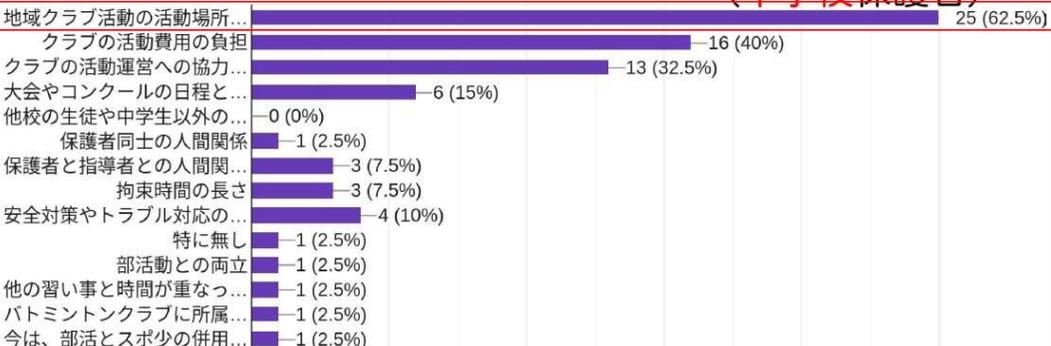


### 自子が地域クラブ活動に所属して課題に感じていること

問6 お子さまが地域クラブ活動に所属して、課題...じていることを教えてください。【複数回答可】

40件の回答

(中学校保護者)



### 【現状】

- ・平日、休日ともに保護者送迎が原則。
- ・保護者アンケート結果では、クラブ利用世帯の課題として「活動場所までの送迎」が上位。
- ・町営バスの停留所に町の社会教育施設が少ない。
- ・地域移行に向けた検討委員会委員に町営バス管理部署（危機管理室）を委嘱し、地域移行に向けてクリアすべき課題の一つとして認識

### 【今後の見通し】

- ・町営バスのダイヤ変更（令和7年1月1日～）により、佐伯庁舎・サエスタ⇄和気駅間の路線拡充により、平日放課後、児童生徒が活動場所へ自力で移動することが可能に。
- ・和気駅南口バス停が新設され、町体育館へのアクセスがやや向上（徒歩5分）
- ・総合型地域スポーツ和気クラブによる休日の町営バス貸借または、toto助成金等を活用したクラブによるマイクロバス保有を検討

出典：「部活動の地域移行に向けた保護者アンケート」（令和6年9月 町教委実施）

# 06

## 新たな分野の開拓

令和4年度まで 和気クラブ内の活動 【教室活動】陸上競技、ソフトテニス 【サークル活動】ピンポン、バスケット、ソフトテニス

### 令和5年度

- 4月～ バドミントンクラブ（教室活動、サークル活動それぞれ1）を新設
- 11月～ 吹奏楽クラブを新設
- 3月 和気地区中学生を対象としたトレーニング・クリニックを試行



バドミントンクラブ



吹奏楽クラブ



トレーニング・クリニック

### 令和6年度

- 4月～ 陸上競技クラブを、年齢や競技経験等に  
応じた4つのクラスに再編（ベーシック、ネクスト、レベル  
アップ、エンジョイ）
- 9月～ 和気地区中学生を対象としたトレーニング・  
クリニックを定期開催
- 年度内（予定）
  - ・バスケットクラブにレベルアップクラス（仮称）の試行
  - ・eスポーツやスケートボード、ビリヤード等の体験会を  
試行

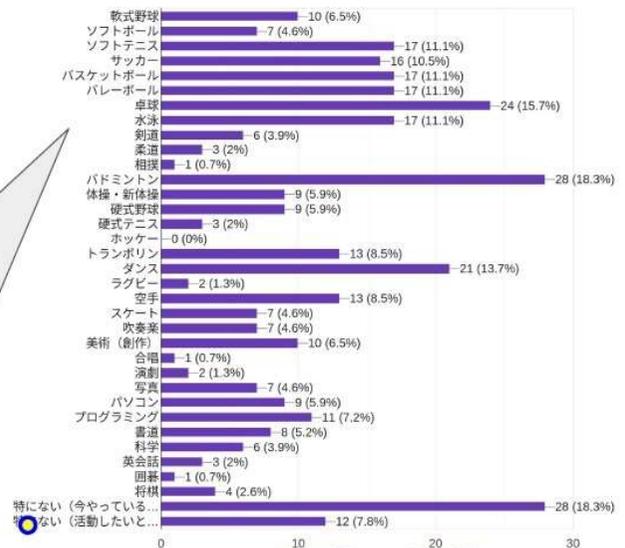
### 今後の見通し（令和7年度）

- 令和6年度内に試行した上記取組の定期開催
- 児童生徒から要望の多かったダンスの開催に向けた  
準備

現在取り組んでいる種目  
（活動）以外に、やってみ  
たいと思う種目（活動）

- 1 バドミントン 28
- 2 卓球 24
- 3 ダンス 21
- 4 ソフトテニス 17
- 4 バスケットボール 17
- 4 バレーボール 17
- 4 水泳 17
- 8 トランポリン 13
- 8 空手 13
- 10 プログラミング 11

問5 現在取り組んでいる種目（活動）以外に、...当てはまるもの全てにチェックをつけてください  
153件の回答



1～4位の活動の中で、ダンス、バレーボール以外  
は、和気クラブ内に受け皿団体あり。

# 07 準備状況に関する広報・連絡

## 現状1 町広報誌「広報和気」による町民への周知

**中学校の部活動がいま、大変なこと...**

現在、中学校の部活動で、各団体活動している生徒が減少しており、町内の中学校では、部活動では練習が十分に行えなかったり、大会に出場できなかったりする状況が数多くあります。

団体	H24年度	H23年度	減少率
前 通	3	22	86.3%
サッカー	10	41	75.6%
バレーボール	7	25	72.0%
卓 球	12	39	69.2%

多くの団体練習で専用コートが無く、自然体ままの練習が、大会に選手が参加できなくなっています。

**町をあげてのスポーツ・文化環境づくりが急務**

和気町では、子どもたちが安心してスポーツ・文化活動に取り組むことができるよう、安全・安心・快適な環境づくりを進めています。また、地域のスポーツ・文化施設を整備し、子どもたちが安心してスポーツ・文化活動に取り組むことができるよう、安全・安心・快適な環境づくりを進めています。

令和5年2月号

**町をあげてのスポーツ・文化環境づくりがスタートしました**

和気町では、子どもたちが安心してスポーツ・文化活動に取り組むことができるよう、安全・安心・快適な環境づくりを進めています。また、地域のスポーツ・文化施設を整備し、子どもたちが安心してスポーツ・文化活動に取り組むことができるよう、安全・安心・快適な環境づくりを進めています。

令和5年8月号

**地域におけるスポーツ・文化環境づくりの現状**

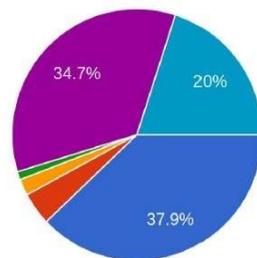
和気町では、子どもたちが安心してスポーツ・文化活動に取り組むことができるよう、安全・安心・快適な環境づくりを進めています。また、地域のスポーツ・文化施設を整備し、子どもたちが安心してスポーツ・文化活動に取り組むことができるよう、安全・安心・快適な環境づくりを進めています。

令和6年3月号

## 現状2 保護者の「部活動の地域移行の取組」への認識

### 町の「部活動の地域移行の取組」への認識（小学校保護者）

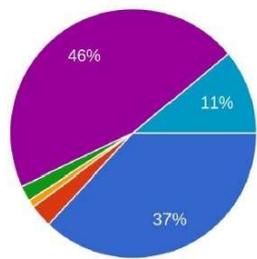
問1 現在、和気町では、スポーツ庁・文化庁及...が、そのことについての認識を教えてください。  
95件の回答



- 地域移行の取組について聞いたことがある。また、取組の方向性に賛成である。
- 地域移行の取組について聞いたことはないが、取組の方向性には賛成である。
- 地域移行の取組について聞いたことがある。また、取組の方向性に反対である。
- 地域移行の取組について聞いたことはないが、取組の方向性には反対である。
- 地域移行の取組について聞いたことがない。

### 町の「部活動の地域移行の取組」への認識（中学校保護者）

問1 現在、和気町では、スポーツ庁・文化庁及...が、そのことについての認識を教えてください。  
100件の回答



- 地域移行の取組について聞いたことがある。また、取組の方向性に賛成である。
- 地域移行の取組について聞いたことはないが、取組の方向性には賛成である。
- 地域移行の取組について聞いたことがある。また、取組の方向性に反対である。
- 地域移行の取組について聞いたことはないが、取組の方向性には反対である。
- 地域移行の取組について聞いたことがない。

出典：「部活動の地域移行に向けた保護者アンケート」（令和6年9月 町教委実施）

### 【今後の見通し】

・広報誌に連載コーナーを設け、地域移行を含めた、町内のスポーツ・文化環境づくりに係る情報を発信

## 現状3 中学校入学者説明会による説明



## 現状4 メディア等の取材

R5.12月 RSKテレビ「メッセージ」（吹奏楽クラブの活動）  
R6.1月 備北新報（町の地域移行の取組）

## 現状 町内の地域移行受け皿団体の概要

## 一般社団法人総合型地域スポーツ和気クラブ

- ・居住地や年齢に関わらずに入会できる、総合型地域スポーツクラブ
- ・令和6年2月現在、7つの教室と7つのサークルがあり、幼少期から80代までの300名以上の会員数を誇る、町最大の地域スポーツクラブ
- ・令和5年度からは、スポーツ庁の部活動の地域移行実証事業を受託し、学校教育関係者や地域団体等と連携し、参加者のニーズに応じた多様な活動ができる環境を構築中
- ・地域全体で子どもたちの多様なスポーツ・文化の体験機会を確保するため、中学生にとどまらず多様な世代が参加できる地域のスポーツ環境の充実を模索中
- ・事務局は和気町教育委員会社会教育課

和気クラブ  
紹介動画→

## 和気町スポーツ少年団

- ・昭和37（1962）年の「スポーツによる青少年の健全育成」を目的に創設された日本スポーツ少年団をもとに、設立。
- ・令和6年、町内では8団体が活動（参加者は全て小学生●名）
- ・令和5年度から剣道スポーツ少年団が、スポーツ庁の部活動の地域移行実証事業を受託
- ・事務局は和気町教育委員会社会教育課

和気町スポーツ少年団  
(剣道) 紹介動画 →

## 今後の見通し

- ・ガバナンス組織及びその組織に属する指導者に求められる法的責任の明確化と体制の整備
- 【組織】・使用者責任…リスクマネジメント体制の構築、損害賠償保険への加入
- 【指導者】
  - ・損害賠償責任…損害賠償保険への加入
  - ・安全配慮義務…指導者研修や資格取得を通じたスキルの向上
  - ・指導スキルにとどまらない各種情報の更新（熱中症予防、体罰の根絶、コンプライアンスの徹底等）

## 【参考】

## ガバナンス組織（受け皿となる団体）が負うべき責任

- 使用者責任（民法715条1項）  
指導者などと連帯して生徒等の損害を賠償しなければならない（民法719条1項）

## ガバナンス組織（受け皿団体）の指導者が負うべき責任

- 損害賠償責任と安全配慮義務
- ・活動中の事故が発生した場合、監督上の注意義務を怠った指導者が、生徒等に対して不法行為に基づく損害賠償責任（民法709条）、安全配慮義務違反に基づく損害賠償請求（民法415条1項）を負う可能性
- 安全配慮義務の判断基準…予見可能性と結果回避義務
- 安全配慮義務の具体例
  - ア 危険の予見義務
  - イ 安全な環境の確保
  - ウ 適切な指導と監督
  - エ 事故対応の準備
  - オ 事故防止の教育

令和6年度部活動の地域移行に向けた指導者研修会

「部活動の地域移行に関わる法的責任について」小林裕彦弁護士資料より抜粋

# 09

## 地域クラブの把握（認定）

### 現状 町内の地域移行受け皿団体の認定

#### 【令和4年度】

休日部活動の地域移行に向けた検討委員会において、受け皿団体として町教委に事務局がある総合型地域スポーツ和気クラブ、和気町スポーツ少年団を設定することを決定

#### 【令和5年度】

和気クラブ（陸上競技、ソフトテニス、バスケット、吹奏楽）及び和気町スポーツ少年団（剣道）を受け皿団体として、実践研究を実施

#### 【令和6年度】

町内中学校に部活動がある柔道、バレーボールについて、町内で活動している団体に、受け皿団体として和気クラブ傘下に加入することを打診

和気相撲クラブと協議し、将来的な受け皿団体となるための要件等を確認

年度末までに、町教委において和気町版「学校部活動と地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」を策定（予定）

### 今後の見通し

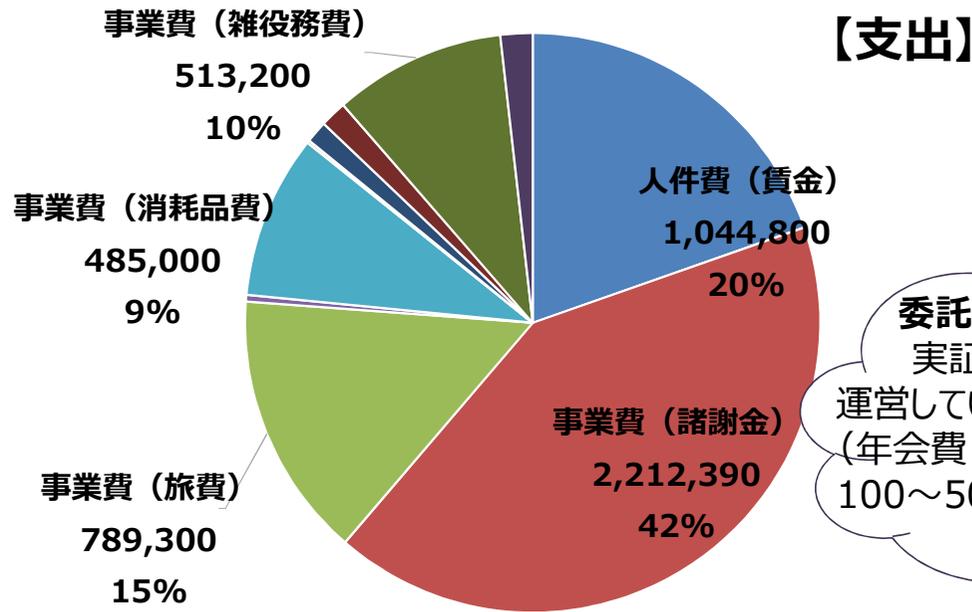
和気町版「学校部活動と地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」に基づき、町内の地域スポーツ・文化団体の認定を実施（予定）

#### 想定される内容（例）

- ・学校部活動の全部、または一部を引き受ける団体であること
- ・活動状況について、定期的に生徒の在籍校と情報共有等が行われていること
- ・規約・定款等に基づき団体の運営を行い、会計について公の場で承認を受け、適切にされていること
- ・活動中の事故やトラブル等の管理責任が明らかであり、その解決に向けて、必要に応じて学校と連携する体制が整備されていること
- ・公認スポーツ・文化芸術指導者資格を有している、または市町が基準として示す指導者研修会等を受講した指導者が携わっていること
- ・活動の維持・運営に必要な範囲で、可能な限り低廉な会費を設定していること
- ・適切な活動時間や休養日等を設定していること

# 10 運営資金の調達・活用の検討・確保

現状 令和6年度部活動の地域移行関係予算



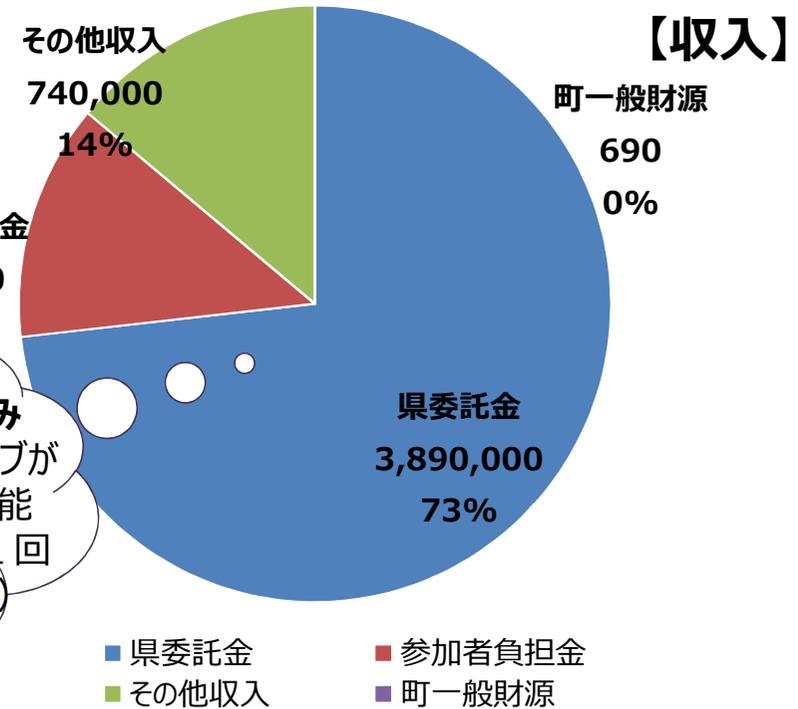
- 人件費 (賃金)
- 事業費 (諸謝金)
- 事業費 (旅費)
- 事業費 (借損料)
- 事業費 (消耗品費)
- 事業費 (会議費)
- 事業費 (印刷製本費)
- 事業費 (通信運搬費)
- 事業費 (雑役務費)
- 事業費 (保険料)

**委託費がなくなった場合の見込み**  
 実証事業開始前まで、和気クラブが運営していた料金体系での実施が可能  
 (年会費：3,000円、教室活動：1回100～500円、サークル活動：無料)

**今後の見通し**

- ・町内企業による総合型地域スポーツ和気クラブ等の地域スポーツ・文化団体への支援拡充に向けた働きかけ (指導者となり得る人材の推薦、経済的支援等)
- ・町の取組の理解促進と支援のための啓発 (ふるさと納税の寄附メニューに「地域スポーツ・文化環境づくり」を追加等)

出典：令和6年度第1回実証研究会資料より抜粋



- 県委託金
- 参加者負担金
- その他収入
- 町一般財源

# 11 活動のバリエーション確定

## 現状 町内の地域移行受け皿団体の概要

- ・部活動に加えてさらなるスキルアップをしたい生徒のニーズに応じたクラス開設（ソフトテニス）
  - 教室活動（ソフトテニス部所属中学生以上：県大会出場、スキルアップを目的）
  - サークル活動（未経験小～成人：ボール・ラケットに慣れ、ラリーや試合を楽しむ）
- ・複数の専門指導者がいるメリットを生かしたクラス運営（陸上競技）
  - ベーシッククラス（幼～小3：個の運動能力向上）
  - ネクストクラス（小3～中：走・跳・投で自己記録に挑戦）
  - レベルアップクラス（小3～中：大会上位を目指すトレーニング）
  - エンジョイクラス（小～中以上：基礎体力の向上）
- ・参加者のニーズ・スキルレベルに応じたクラス開設（バドミントン）
  - 教室活動（幼～：大会出場を目標とした基礎的な練習）
  - サークル活動（幼～成人：一緒に汗を流しましょう）
- ・参加者の主体的な取組によるクラス運営（バスケットボール）
- ・中学校部活動と連動した指導体制（剣道）
- ・町内で音楽（吹奏楽）ができる環境の整備を目的とした活動（吹奏楽）
  - マスターズアカデミー（吹奏楽部所属の中高生：マンツーマンでのスキルアップ）
  - 楽器体験会（幼～成人：多種多様な楽器に触れる体験）



## 今後の見通し

【中学生年代の経験者をターゲットとした活動】  
バスケット（レベルアップクラス）（仮称）

【小中学生のニーズに対応した活動】  
ダンス（仮称）

【活動のバリエーション充実を目的としたイベント】  
・eスポーツ  
・スケートボード  
・ビリヤード・・・  
（町民、町有施設、町文化団体等と連携）

# 12 研修機会の確保

## 現状1 町教委主催指導者研修会の開催

**令和5年度 和気町  
部活動の地域移行に関する  
指導者研修会**

【期日】 令和5年11月26日(日) 13:30~17:00  
 【場所】 「学び館」サエスタ大会議室 和気郡和気町父井原430-1  
 【対象者】 ・総合型スポーツ和気クラブ指導者  
 (中学生が所属する団体の指導者)  
 ・和気町スポーツ少年団指導者  
 (小中学生が所属する団体の指導者)  
 ・和気町立小中学校教職員 その他参加を希望する者

【プログラム】  
 13:30~ 開会行事  
 13:40~14:25 「スポーツにおける体罰・ハラスメント防止」  
 IPU環太平洋大学 体育学部体育学科センター 前田 誠一 氏  
 14:40~15:25 「中学生期のトレーニング」  
 IPU環太平洋大学 体育学部体育学科 講師 江波戸 智希 氏  
 15:50~16:35 「特別支援の視点を踏まえたスポーツ指導」  
 IPU環太平洋大学 体育学部体育学科 講師 白石 翔 氏  
 16:50~17:00 全体を通したリフレクション  
 ~自分の立場でできる地域スポーツ環境の充実に向けた取組~

【講師】



**前田 誠一 氏**  
専攻：体育学(シドニーオリンピック)  
資格：日本スポーツ協会 公認コーチ4 (上級コーチ)  
職歴：日本各地でスポーツの指導活動に従事し、講演会にて講師を務める。  
また、日本スポーツ協会指導者養成講習会の講師として数回に立ち、スポーツ現場におけるコンプライアンス、ハラスメント防止、禁止薬物防止講習会の講師を務める。



**江波戸 智希 氏**  
専攻：カテゴリー別シニアトレーニング/発育発達  
資格：SISC、AT、NSCA、CSCS、JFA公認級コーチ  
職歴：早稲田大学ア式蹴球部女子、2017年度アカデミーオブザリーグを兼任し、現在は東京ヴェルディアカデミーアカデミー、JFAアカデミーフットボールクラブのコーチとして指導活動に従事している。プロサッカー選手を多数育成することに貢献している。



**白石 翔 氏**  
専攻：教育学(スポーツ教育・体育社会学)  
研究テーマ：子どもスポーツに関する社会科学的な研究  
日本体育社会学 理事(研究奨励賞)、愛国体育学同研究会 委員  
職歴：岡山県立小中学校を中心とする体育指導研究会等にて講師を務め、豊富な実践的指導力をもつ。また、和気町立小中学校の指導者養成講習会や、和気町立小中学校の指導者養成講習会等にて講師を務める。

参加希望の方は、下のQRコードから必要事項を入力してください。

※切：11月12日(日)



お問い合わせ先 和気町教育委員会学校教育課  
〒709-0511 和気郡和気町矢田305番地 TEL(0869)88-1115

令和6年度スポーツ庁及び文化庁委託事業



令和6年度 部活動の地域移行に関する  
**指導者研修会** **参加費無料**

**9/8日13:00-16:40**

タイムテーブル  
 13:00~13:10 開会行事  
 13:10~14:20 「中学生期の効果的なトレーニング②」  
 講師：環太平洋大学体育学部講師 江波戸 智希 氏  
 14:30~16:30 「部活動の地域移行に関わる法的責任について(仮題)」  
 講師：小林裕彦法律事務所代表 弁護士 小林 裕彦 氏  
 16:30~16:40 閉会行事

対象者  
 ・総合型地域スポーツ和気クラブ指導者  
 ・和気町スポーツ少年団指導者  
 ・和気吹奏楽団、佐伯吹奏楽団指導者  
 ・スポーツ・文化振興所管課及び教育委員会職員

会場  
 学び館「サエスタ」1階大会議室  
 〒709-0521 和気郡和気町父井原430-1

主催：和気町教育委員会  
 共催：総合型地域スポーツ和気クラブ  
 お問い合わせ：和気町教育委員会学校教育課  
 TEL 0869-88-1115

右記QRコードからお申し込みください  
 (締切：9月1日)



## 現状2

### 総合型地域スポーツ和気クラブ指導者の指導者研修会、資格取得研修等への派遣

- 【令和5年度】
- ・陸上競技クラブ(1名)
  - ・ソフトテニスクラブ(1名)
- 【令和6年度】
- ・吹奏楽クラブ(2名)

## 今後の見通し

- 1 対象の明確化
  - ・地域スポーツ・文化団体の指導者共通の研修機会の設定(対面・オンライン)
- 2 内容の充実
  - ・指導対象年齢・年代に応じたメニューの設定
  - ・安全配慮義務等法的責任の観点からの研修内容の設定

# 13 経済的困窮世帯への支援スキーム確認

## 現状1 小・中学生への就学援助制度

目的：義務教育となっている小・中学校の児童・生徒で経済的な理由により就学が困難な方々に対し、町が必要な援助を行い、義務教育を円滑に実施すること

援助費の種類及び上限額

区分	小学校		中学校		
	1学年	2～6学年	1学年	2・3学年	
学用品費等	学用品費	13,230	15,500	25,040	27,310
	校外活動費（宿泊有）	3,690		6,210	
	新入学児童生徒学用品費等	57,060	-	63,000	-
	修学旅行費	対象額		対象額	
	オンライン学習通信費	14,000		14,000	
学校給食費	対象額		対象額		

出典：令和6年5月23日付 小・中学生の就学援助の制度について（お知らせ）から抜粋  
 ※現状、部活動参加のための援助メニューは設けていない

## 今後の見通し

- 1 就学援助制度利用家庭に対して、地域スポーツ・文化活動へ参加する際の援助制度を創設
- 2 総合型地域スポーツ和気クラブが、ジュニア世代（未就学児～中学生）からの入会金・参加費を徴収せず、さまざまな体験機会を提供（入会金・参加費として見込まれる額を寄附等で確保）

## 現状2 総合型地域スポーツ和気クラブの活動に係る経費

令和6年度 入会方法・料金  
 別紙入会申込書に必要事項を記入の上、和気町体育館内和気クラブ事務局まで年会費（保険料は任意）を添えるか振込にてお申し込みください。  
 （保険適応期間は申し込みの翌日から翌3月31日まで）

会員種別／年会費	4月～9月入会	10月～翌年3月入会	スポーツ安全保険（任意）
ジュニア（中学生以下）	2,000	1,000	800
学生（高校生以上）	3,000	1,500	1,850
一般	3,500	1,750	1,850
シニア（65歳以上）	3,000	1,500	1,200

出典：総合型地域スポーツ和気クラブ令和6年度パンフレットから抜粋

教室活動（陸上競技、ソフトテニス、バドミントン等） 1回500円  
 サークル活動（バスケット、吹奏楽等） 参加費無料

※和気町スポーツ少年団（剣道）は、参加費を徴収していない

# 14 大会・コンクールへの参加機会確保

## 現状1 中体連主催大会への参加状況

地域クラブ活動の参加資格の特例 競技部細則を踏まえた対応

【令和5年度向け】

- ・地域移行の取組開始前のため、希望団体なし

【令和6年度向け】

- ・**剣道スポーツ少年団**が申請（中体連総体には出場せず）
- ・**総合型地域スポーツ和気クラブ（陸上競技クラブ）**は検討するも申請せず

## 現状2 競技団体主催大会への参加状況

- ・和気クラブ（ソフトテニス、陸上競技、水泳）
  - ・和気町スポーツ少年団（剣道）
  - ・和気相撲クラブ
- 等が競技団体主催の地区大会等へ参加

## 現状3 地域スポーツ・文化団体主催大会・イベントの実施状況

【和気クラブ】

- ・ソフトテニスクラブ（お別れ会兼交歓会）
- ・吹奏楽クラブ（WAKEフェス！Brass!!）

## 今後の見通し

- 1 令和7年度中体連主催大会への参加
  - ・剣道スポーツ少年団は引き続き申請（予定）
  - ・総合型地域スポーツ和気クラブ（陸上競技クラブ）が申請（予定）
  - ・和気相撲クラブが申請（予定）

※中体連主催大会に地域クラブ活動が出場する場合、指導者資格等が必要になることがあり、各指導者に資格取得を呼びかけていきたい。

- 2 競技団体主催大会への参加  
現状のとおり参加が見込まれる

- 3 和気クラブ主催大会・イベント等の充実
  - ・町有施設を活用したイベント（スケートボード）
  - ・広域連携を目的にしたイベント（吹奏楽）
  - ・これまでのスポーツの枠を越えたイベント（eスポーツ）
  - ・プロスポーツ選手等を招聘する教室（サッカー）

